

SPANCRETE CORPORATION

Investors' Guide IR 2018

会社情報



東京団地冷蔵(株)再整備事業(外壁)

株式会社 スパンクリートコーポレーション

本 社

〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-3

Tel: 03-5689-6311 Fax: 03-5689-6321

www.spancretecorp.com

JASDAQ 〈JASDAQスタンダード・コード 5277〉

● みなさまとのコミュニケーションを大切に ●

インベスターズガイドについて

インベスターズガイドは、株主ならびに投資家のみなさまに、当社の財務内容を正確にお伝えするとともに、みなさまとのコミュニケーションの手段として発行を続けてまいりました。毎年約100通のアンケートの回答をいただき、ご意見の一部を編集に反映させていただいております。今後ともみなさまからのご意見をいただきたいと存じますので、同封のアンケート用ハガキにてお寄せいただければ幸いです。

■ 2018年3月期について

日本経済は、雇用環境及び企業収益の改善が続き、個人消費に回復の兆しが見られるなど、緩やかな回復基調で推移しました。一方、世界経済の不確実性、金融資本市場変動、外国為替市場、資源価格の変動等の不安要素はあるものの、全体としては緩やかな成長を維持しています。

この間、建設業界におきましては、遅れていた東京オリンピック・パラリンピック関連工事の本格的着工や公共投資が底堅い動きとなっているものの、人手不足等に起因する労務単価の高騰や資材価格の上昇基調の影響も継続しており、決して楽観できない経営環境が続いています。

このような状況下で当社の業績は、営業の販売強化、製品の品質向上、生産の効率向上及びコスト削減に注力した結果、売上高3,394百万円（前期比35.4%増）、営業利益239百万円（前期比78.4%増）、経常利益260百万円（前期比75.2%増）、当期純利益206百万円（前期比124.0%増）となりました。

事業部門別の業績は、次のとおりです。

① スパンクリート事業

当事業は、売上数量が前期比26.1%増加し、売上高は3,086百万円（前期比38.8%増）と増収となりました。利益面に関しましては、営業利益81百万円（前期比1,991.4%増）となりました。なお、第1四半期会計期間において減損損失7百万円を特別損失に計上しております。

② 不動産事業

当事業は、オフィスビル4棟の賃料収入が安定収益源となっており、売上高308百万円（前期比8.9%増）、営業利益157百万円（前期比21.0%増）となっております。

■ 2019年3月期の業績予想

今後の見通しにつきましては、2020年に向けてオリンピック・パラリンピック事業関連の諸工事の本格化、鉄道各社のホームドア設置事業の進捗などのため、売上高は増大しますが、前期より引き続き原材料・燃料の価格の高騰やトレーラー不足による輸送費の増加が予想され、厳しい経営環境が続くと考えております。

このような環境の中、翌事業年度（2019年3月期）の業績見通しにつきましては、売上高4,218百万円（前期比24.3%増）、営業利益161百万円（同32.8%減）、経常利益177百万円（同32.0%減）、当期純利益149百万円（同27.8%減）を予想しております。

■ 配当の見通し

2018年3月期につきましては、当初予想の5円から3円増配し、1株あたり8円の配当とさせていただきます。

2019年3月期につきましては、1株あたり8円の配当を予定しております。

ひとこと



代表取締役社長

浮田 聡

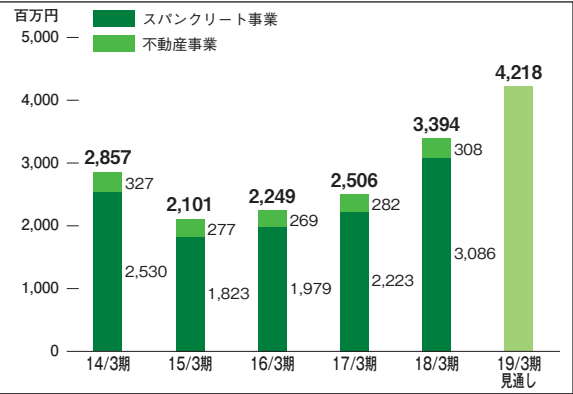
日ごろより、株式会社スパンクリートコーポレーションをご支援・ご愛顧いただき、誠に有難うございます。

2016年3月期、当社はスパンクリート事業の減損により創業以来最大の約15億円の赤字を余儀なくされ、大変なご心配をお掛け致しました。

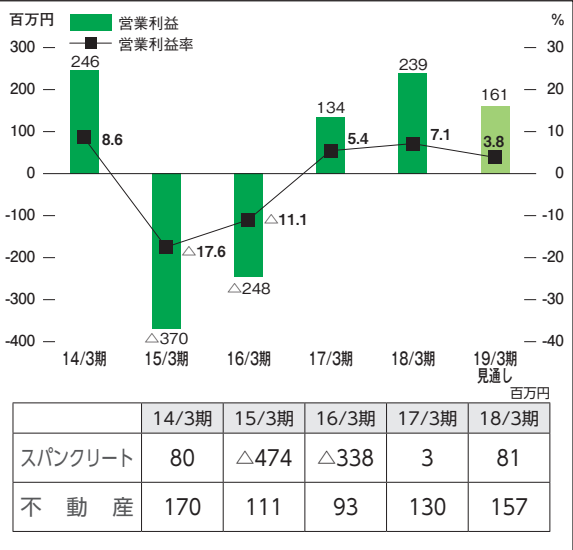
2016年6月の新経営体制移行後、コスト削減及び拡販に取り組んだ結果、2017年3月に黒字転換を果たし、2018年3月期には増収・増益により復配を行える状況になりました。

2019年3月期はオリンピック・パラリンピック関連物件への販売により販売数量は大幅に増加する見込みです。然しながら、足もとの原材料・燃料費上昇及びトラック物流確保難の業界環境により、増収ながら減益の見通しですが、前年同様、期初の見通しを上回れるよう、全社一丸となり尽力致してまいりますので、引き続き宜しくお願い申し上げます。

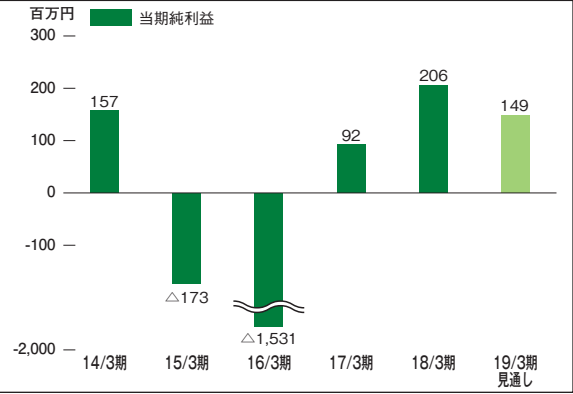
売上高



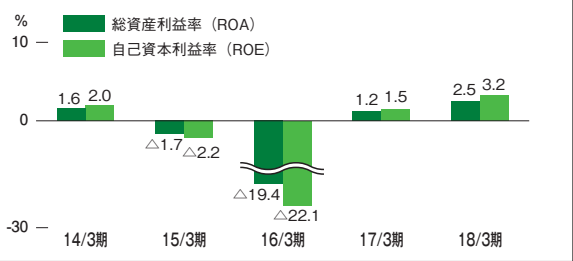
営業利益



当期純利益



総資産利益率・自己資本利益率



財務諸表コメント

- [18/3期] 倉庫案件など採算性の良い物件が多く増収増益となり、復配が行えるようになりました。
- [17/3期] 営業の販売強化、製品の品質向上、生産の効率向上及び全社でのコスト削減の結果、増収増益となり3年ぶりの黒字を計上しました。
- [16/3期] スパンクリート事業及び共用資産に係る固定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額することが適切であると判断し、減損損失として特別損失を計上しました。

損益計算書

(単位：百万円)

	17/3期	(%)	18/3期	(%)
売上高	2,506	100.0	3,394	100.0
売上原価	1,908	76.1	2,599	76.5
販売費および一般管理費	464	18.5	555	16.4
営業利益	134	5.4	239	7.0
営業外損益	14	0.5	20	0.6
経常利益	148	5.9	260	7.6
特別損益	△48	△1.9	△30	△0.9
税引前当期純利益	99	4.0	229	6.7
法人税、住民税及び事業税	9	0.4	24	0.7
法人税等調整額他	△1	0.1	0	0.0
当期純利益	92	3.7	206	6.0

貸借対照表要旨〈資産の部〉

(単位：百万円)

	17/3期	18/3期	(%)
流動資産	2,830	Point ① 2,947	36.3
固定資産	5,147	5,159	63.6
有形固定資産	4,265	4,258	52.5
無形固定資産	69	Point ② 91	1.1
投資その他の資産	813	809	9.9
資産合計	7,978	8,107	100.0

- Point ① 売上、出荷量の増加によるもの
- Point ② システム開発

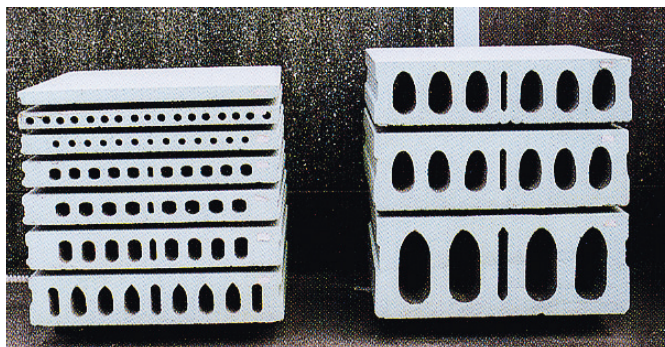
貸借対照表要旨〈負債・純資産の部〉

(単位：百万円)

	17/3期	18/3期	(%)
流動負債	995	999	12.3
固定負債	716	606	7.4
負債合計	1,711	1,606	19.7
純資産の部			
株主資本			
資本金	3,295	3,295	40.6
資本剰余金	3,696	Point ③ 2,999	36.9
利益剰余金	△643	260	3.2
自己株式	△370	△370	△4.5
評価・換算差額等	288	315	3.9
純資産合計	6,266	6,500	80.1
負債純資産合計	7,978	8,107	100.0

- Point ③ 繰越利益剰余金の欠損てん補

スパンクリート



スパンクリート標準製品。スパンクリートは縦方向に数個の穴をもち、PC鋼線によってプレストレスを与えられたコンクリート板です。床材として、また壁材として建築から土木まで多目的に使用可能な材料です。厚さ7cmから35cmまで17種類。高耐力、ロングスパンが特長です。当社はスパンクリートの生産・販売を行っております。

スパンクリートの特長

高強度部材で大スパンに適します



防水性に優れています



防火性に優れています



遮音性に優れています



主な実績

〈総合スポーツ施設〉合成床



栃木県宇都宮市に新しく建設中のスタジアムに、スパンクリート合成床が採用されました。競技場特有の楕円形状のため特別な技巧を駆使することと併せ、スパンクリート合成床工法の長所を生かし工期短縮に貢献しました。2019年9月の完成を目指しています。

〈オフィス〉合成床



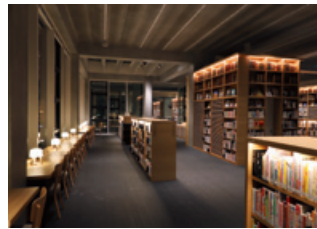
オフィスの床にスパンクリート合成床が採用になりました。環境にも優しく、ぬくもりが感じられる木造建築とコンクリートの存在感が共存する建物となりました。

〈ケーブルテレビ施設〉外壁



板表面にリブ加工を施すことによりデザイン性に優れた仕上がりとなりました。スパンクリートの最大の特長であるロングスパンにも対応しております。

〈延岡市駅前複合施設〉合成床



JRの駅前に隣接して新しく延岡市の公共複合施設が完成し、スパンクリート合成床が採用されました。天井には数枚おきの隙間70mmに照明器具を埋込み、素地仕上げとすることでコンクリートの質感を生かしたデザイン性のある建物に仕上がりました。

〈駅〉ホーム床



ホーム軌道側、端部にホームドア新設のためMスラブが採用されました。

〈オフィス〉壁



建物のルーバー部分に採用されました。スパンクリートの特長を、最大限に生かした使用方法です。

〈物流倉庫〉間仕切壁



大型物流倉庫の間仕切壁に使われ、耐火・遮音性能に対し評価を頂き、採用となりました。

〈マンション〉合成床



都内最大級のオフィスビルに併設されたマンションにスパンクリート合成床工法が採用されました。

表紙の写真提供：(株)エスエス 小掠直浩

資料請求、お問い合わせは…

株式会社スパンクリートコーポレーション
IR担当 武田喜之・的場 舞
〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-3
電話 03(5689)6311

制作協力：

株式会社プロネクス
営業第5部 大木 整
〒105-0022 東京都港区海岸1-2-20 汐留ビルディング
電話 03(5777)3014

会社の概要

1. 会 社 名	株式会社スパンクリートコーポレーション
(英 文 名)	SPANCRETE CORPORATION
2. 設 立	1963年（昭和38年）3月23日
3. 資 本 金	32億9,590万円（2018年3月31日現在）
4. 役 員	代 表 取 締 役 社 長 執 行 役 員 浮 田 聡
	取 締 役 常 務 執 行 役 員 多 田 昌 司
	取 締 役 常 務 執 行 役 員 田 中 啓 三
*	取 締 役 坪 井 哲 明
*	取 締 役 大 塚 直 義
	取 締 役 執 行 役 員 井 上 孝 広
**	常 勤 監 査 役 森 康 裕
**	監 査 役 松 岡 幸 秀
**	監 査 役 矢 野 千 秋
	常 務 執 行 役 員 菊 池 透
	執 行 役 員 井 上 卓 郎
	相 談 役 齊 藤 建 次
	顧 問 村 山 典 子
	(2018年6月21日現在)
	*は社外取締役です
	**は社外監査役です

5. 本 社	東京都文京区湯島2-4-3 〒113-0034 TEL(03)5689-6311
仙台営業所	宮城県仙台市泉区中央1-28-22 プレジデントシティビル 〒981-3133 TEL(022)347-3263
宇都宮工場	栃木県宇都宮市平出工業団地8-5 〒321-0905 TEL(028)661-2211
6. 取 引 銀 行	みずほ銀行 三菱UFJ銀行 三井住友銀行 みずほ信託銀行

主要取引先

設計事務所	三菱地所(株)・(株)日建設計・(株)日本設計・(株)佐藤総合計画・(株)日建ハウジングシステム・東電設計(株)・(株)松田平田設計・(株)梓設計・(株)今川建築設計事務所・(株)横河建築設計事務所・(株)ジェイアール東日本建築設計事務所・独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構・(株)久米設計・(株)石本建築事務所 他
商 社	三菱商事(株)・三菱商事建材(株) 他
建 設 会 社	鹿島建設(株)・大成建設(株)・清水建設(株)・(株)竹中工務店・(株)大林組・前田建設工業(株)・戸田建設(株)・西松建設(株)・(株)ピーエス三菱・鉄建建設(株)・(株)浅沼組 他

大株主

- | | |
|-----------|------------------|
| 1 三菱商事(株) | 2 日本スパンクリート機械(株) |
| 3 村山 典子 | 4 日鉄住金SGワイヤ(株) |
| 5 村山 知子 | |

会社の沿革

1963年	3月	スパンクリート製造株式会社（旧社名）設立 資本金1,000万円 代表取締役社長 村山好弘就任
	4月	資本金4,000万円に増資
	7月	資本金1億円に増資
1964年	2月	宇都宮第1工場屋外生産設備完備 試作開始 営業開始
	7月	資本金2億円に増資
1970年	10月	宇都宮第2工場建設完了 生産開始
1971年	4月	日本スパンクリート協会を設立 会長に当社代表取締役社長村山好弘就任
1975年	10月	空胴プレストレストコンクリートパネル工業協会（穴あきP C板工業協会）設立 会長に当社代表取締役社長 村山好弘就任
1976年	5月	JISA6511（空胴プレストレストコンクリートパネル）制定される
1979年	12月	資本金2億3,000万円に増資
1982年	12月	宇都宮工場 JIS指定工場となる
1984年	3月	スパンクリート合成床工法 建設大臣認定を取得
	7月	宇都宮第3工場生産設備完了 生産開始
1988年	11月	資本金2億9,000万円に増資
1989年	5月	スパンクリート合成床工法 特許を取得
	10月	資本金4億2,434万円に増資
	11月	資本金14億9,759万円に増資
	11月	岩瀬工場建設完了 生産開始
1990年	2月	スパンクリート合成床工法 発明大賞受賞
1991年	2月	社名をスパンクリート製造株式会社から株式会社スパンクリートコーポレーションに変更
	4月	スパンクリート合成床工法 科学技術庁長官賞受賞
	9月	株式を公開（店頭） 資本金32億3,459万円に増資
1992年	4月	当社代表取締役社長 村山好弘 黄綬褒章受章（スパンクリート合成床の発明考案など業務精励）
	5月	株式を1対1.4に分割
1993年	5月	岩瀬工場 JIS指定工場となる
1996年	7月	本社を文京区本郷4丁目に移転
2003年	8月	Jスラブ（組立床工法）財団法人日本建築センターの構造評定を取得
2004年	3月	明星プレテック株式会社（4月プレテック株式会社に社名変更）の株式を100%取得
2005年	5月	宇都宮工場・岩瀬工場・設計部 ISO 9001認証取得
	6月	原田穰代表取締役社長就任
	11月	1単元の株式数を1,000株から100株に変更
2006年	3月	プレテック株式会社解散
	10月	普通株式1株を2株に分割
2010年	6月	齊藤建次代表取締役社長就任
	7月	本社を文京区湯島に移転
	11月	岩瀬工場閉鎖 生産設備を宇都宮工場に統合
2013年	6月	飯牟礼聡代表取締役社長就任
	6月	東日本旅客鉄道(株)とホームドア設置用床の共同特許取得
2015年	11月	コージェネレーションシステム導入
2016年	6月	浮田聡代表取締役社長就任
2017年	2月	新製品「クレストウォール」販売開始 （高橋カーテンウォール工業(株)との共同開発）



宇都宮工場